

公益社団法人愛知県医師会 第 37 回 (定例) 理事会議事録

開催日時：平成 26 年 3 月 13 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 5 時 00 分

開催場所：愛知県医師会館 4 階理事会議室

出席者

会 長 (代表理事) / 柵 木 充 明

副会長 (代表理事) / 山 本 楯 伊 藤 宣 夫 横 井 隆

理 事 / 稲 坂 博 可 世 木 成 明 市 川 朝 洋 吉 田 貴 伊 藤 健 一

城 義 政 加 藤 雅 通 大 輪 芳 裕 西 山 朗 樋 口 俊 寛

伊 藤 富 士 子 額 額 雅 明 細 川 秀 一

監 事 / 加 藤 茂 岩 瀬 敬 紀

代議員会議長 / 杉 田 洋 一

代議員会副議長 / 藤 原 誠 治

欠 席 者 理 事 / 樫 尾 富 二 松 尾 清 一 監 事 / 丹 羽 巽

議事録作成者 横 地 宏 和

※稲坂理事遅刻の為、承認事項 1、承認事項 3～6 については、20 名にて審議し、承認事項 2 は承認事項 7 の後に審議した。

議長は、定款第 39 条第 2 項により、柵木充明会長 (代表理事) が務める。

本日の理事会は、出席者 21 名 (うち理事 17 名) で、理事現在数 19 名の 2 分の 1 以上 (10 名) の出席があり、定款第 39 条第 6 項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

- ①愛知県訪問看護ステーション連絡協議会主催の平成 25 年度愛知県訪問看護ステーション連絡協議会講演会〔3/23 (日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

- ②愛知産業保健推進センター主催の日医認定産業医研修会の共催について
市川理事より説明があり、承認された。

- (2) 一般財団法人杉浦地域医療振興財団(理事長 杉浦昭子)主催の健康増進セミナー in 愛知〔6/15(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

城理事より、セミナーの最後にある「お楽しみ抽選会」の内容について質問され、柵木会長より、企業PRを行わないよう先方に依頼すると回答された。

- (3) 透析療法審査委員会委員の推薦について

市川理事より説明があり、愛知県透析療法審査会議及び名古屋市透析療法審査委員会の委員を推薦することが承認された。

- (4) 人事委員会〔3/13(木)〕開催について

市川理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

2. 第5回災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会〔6/15(日)〕開催について
(愛知県医師会主催・9階大講堂)

稲坂理事より説明があり、標記研修会の開催が承認された。

3. 特別職員等の平成26年度雇用契約等について

市川理事より説明があり、特別職員等の雇用が承認された。

4. 平成26年度医療従事者給与基準表(案)について

市川理事より説明があり、医療従事者給与基準表の改定が承認された。

5. 医療関係者・看護学校検討委員会の名称変更について

市川理事より説明があり、標記委員会の名称を「医療関連職検討委員会」へ変更することが承認された。

柵木会長より、名称変更の時期について質問され、市川理事より平成26年4月からの変更であると回答された。

柵木会長より、行政年度と新執行部の開始時期が異なっているので、そのルール作りをする必要があると発言された。

6. 病院の認知症対応力向上事業 平成26年度第1回モデル事業企画支援会議〔4/7(月)〕開催について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より説明があり、標記企画支援会議の開催が承認された。

7. 第170回(臨時)代議員会決議文(案)について

加藤理事より説明があり、第170回(臨時)代議員会決議文が承認された。

8. 平成 26 年度愛知県医師会医療秘書学院講師派遣について

大輪理事より説明があり、5 名の講師をあいちビジネス専門学校へ派遣することが承認された。

9. 母体保護法指定医師の指定について

伊藤（富）理事より説明があり、施設移転 8 名、転勤 2 名、新規指定 3 名、開業 1 名の申請が承認された。

10. 剖検料金の改定について

細川理事より、平成 26 年 4 月 1 日以降の剖検料金について、従来依頼医療機関に請求していた入金の際の振込手数料を廃止し、新たに本会の事務手数料 1 万円（税別）を追加すると説明され、消費増税分も併せ合計 28 万 800 円に改定することが承認された。

11. 各種委員会・部会について

A) 生涯教育委員会〔3/25（火）〕開催について
（804 会議室）

城理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

B) 社保指導委員会（3 月・4 月）の休会について

樋口理事より説明があり、3 月、4 月の標記委員会を休会とすることが承認された。

C) 社会福祉専門委員会（3 月）の休会について

樋口理事より説明があり、標記委員会を休会とすることが承認された。

柵木会長より、各種会内委員会は、新年度以降も 6 月までは現在の委員で開催し、改選後は委員が決まるまでは委員会が開催できないので、実際に委員会を開催する時期は 9 月頃になると発言された。

—協議事項—

12. 会費の減免申請について

可世木理事より説明があり、岡崎市医師会からの会費減免申請が承認された。

13. その他

—報告事項—

1. 中部医師会連合第12回常任委員会〔3/5(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、冒頭挨拶にて報告されたこと及び、3月23日(日)に開催される第3回日医医政活動研究会中部ブロックの動員について説明された。

2. 中部医師会連合第2回日医代議員協議会〔3/5(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、3月30日(日)に開催される第131回日医臨時代議員会に提出する中部医連からの個人質問及び代表質問について説明され、また、指導監査の話題についても話し合われたと報告された。

3. 平成25年度愛知産業保健推進センター運営協議会〔3/11(火)〕について

(愛知産業保健推進センター主催：愛知産業保健推進センター)

柵木会長より、愛知産業保健推進センター所長は山本副会長で、今年度をもって運営協議会は終わりとなり、地域産業保健事業、産業保健推進センター事業、メンタルヘルス対策支援事業が一元化され、来年度より産業保健総合支援センターとなり、また、従来の地域産業保健センターも事業所となるが、通称として名称はそのままになると報告された。

山本副会長より、三事業を一元化するが、50人以上と50人未満の区別は残る。平成22年度より県医師会が地域産業保健センター事業をまとめて受託していたが、この一元化により従来通りとなり、委託費は産業保健推進センターが支払うことになる。また安定した運営をするため入札制度は取りやめることになったと説明された。

西山理事より、運営主幹の立場で、今まで以上に地区との連携の必要性を感じていると発言された。

4. 日本医師会感染症危機管理対策委員会〔3/6(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館501会議室)

伊藤副会長より、中心は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の登録についての登録順位についてフリートーキングがなされたと報告され、愛知県の登録状況は2月26日時点で16%であると説明された。

山本副会長より、役員へ登録状況の確認をされた。

5. 第5回救急災害医療対策委員会〔2/21(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

稲坂理事より、安定ヨウ素剤服用ガイドライン、諮問「医師会による救急・災害医療体制の整備」を協議し、次いで第5回救急災害医療対策委員会資料目録に示す15議題が話し合われた。「救急救命士の心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与の

実施等について」と「平成 25 年度愛知県医師会救急医療・災害医療関係事業活動実績」が愛知県からの提出議題であったと報告された。

6. 愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会〔3/4(火)〕について

(愛知県医師会主催：7 階研修室)

稲坂理事より、平成 25 年度の運用実績について、清水センター長より報告があり、報告内容について質疑応答が行われた。質疑内容は、救急搬送情報共有システムについて、愛知県救急医療情報システム内の位置付けと実際に搬送先の選定にどの程度使われているのか、また、情報センターの実績集計における項目の整理方法等について助言を頂いたと報告された。

7. 第 32 回救急医療・災害医療シンポジウム〔3/8(土)〕について

(愛知県医師会主催：9 階大講堂)

稲坂理事より、シンポジウムの内容について説明され、参加者は 159 名であったと報告された。

横井副会長より、介護施設からの救急搬送について議論をし、結論としては救急医療か終末期医療かの判断をどこが行うかということであったと報告された。

8. 臨時監事会〔3/6(木)〕について

(5 階医師連盟会議室)

可世木理事より、適正に処理されていると報告を受けたが、資産運用状況の理事会報告に関しての指摘を受けたので事務局長より説明をさせると発言され、事務局長より、資料に基づき資産運用状況の説明を行い、今後は 4 半期毎に理事会へ報告すると発言された。

加藤監事より、資産管理・運用規程に基づき報告を行うよう依頼された。

9. 第 4 回医療関係者検討委員会〔2/19(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

市川理事より、特定医行為 41 項目のうち、A 群、C 群、E 群、K 群の中のいくつかを医師会としては特定医行為から外すことを提案した。保助看法の改正を伴って特定医行為を定め、看護籍登録には載せないことになった。また、平成 24・25 年度委員会報告書のたたき台を提示されたと報告された。

柵木会長、山本副会長、樋口理事より、特定医行為から外すべき行為について発言され、市川理事より日医藤川常任理事へ伝えることとなった。

柵木会長より、特定医行為から外すべき行為について意見があれば、市川理事まで申し出るよう依頼された。

10. 第 2 回選挙管理委員会〔2/24(月)〕について

(805 会議室)

市川理事より、本会役員は出席していないが、「投開票立会人、開票管理人につい

て」、「平成 26 年 5 月 24 日 (土) の選挙に関するタイムスケジュールについて」、「選挙に関する届出用紙等の確認について」、「愛知医報への選挙告示内容について」、「ホームページへの掲載形式について」協議されたと報告された。

1 1. 愛知県社会福祉協議会 第 4 回苦情解決合議体懇談会〔2/24 (月)〕について
(愛知県社会福祉協議会主催：愛知太陽の家)

市川理事より、蒲郡市の愛知太陽の家にて開催され、障害者の方々の作業を見学したと報告された。

1 2. 平成 25 年度 選ばれる医療機関のためのセミナー〔3/3 (月)〕について
(愛知労働局主催：ウインクあいち)

市川理事より、勤務環境改善事例について、愛知医療労働専門相談員より、3 例の報告がなされた。『医療における「雇用の質」向上のためにできること～看護職のメンタルヘルス一次予防に注目して～』と題し、三重大学大学院医学系研究科毛利一平准教授より講演があったと報告された。

1 3. 平成 25 年度 愛知県准看護師試験委員会議〔3/5 (水)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)

市川理事より、行政処分について、医師法違反及び横領のため懲役 1 年 6 ヶ月、執行猶予 3 年の判決を受けた准看護師が 2 年の資格停止となった。また、試験については 361 名受験し、352 名合格。合格者の内訳は、新卒 270 名、既卒 2 名、看護師養成所卒 46 名、その他 34 名 (その他 9 名 (EPA) 含む) であったと報告された。

1 4. 学校保健シンポジウム〔3/2 (日)〕について
(愛知県医師会主催：9 階大講堂)

吉田理事より、特別講演「学校における食物アレルギー対応」とシンポジウム「学校現場における各科の今日的健康課題」をテーマに、「学校保健と色覚検査」、「名古屋市立小学校 1 年生に対するアレルギー検診の現状と課題」、「学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルについて」、「学校保健におけるアトピー性皮膚炎の管理」が行われ、参加者は医師 46 名、養護教諭 52 名、その他 10 名の計 108 名であったと報告された。

1 5. 平成 25 年度 地域医療再生研修事業講演会〔2/22 (土)〕について
(愛知県医師会・愛知県主催：ミッドランドホール)

伊藤 (健) 理事より、今年度は講師に津島市の伊藤文郎市長、東京大学高齢社会総合研究機構執行委員・特任教授の辻哲夫先生、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営管理専攻教授の田中滋先生をお招きし、「地域包括ケアシステムにおける連携とは」をテーマに開催した。受講者は 240 名 (医師 44 名、医療従事者 56 名、病院事務職員 83 名、その他 (行政など) 57 名) であったと報告された。

- 1 6. 医療従事者の認知症対応力向上研修(第3回)〔2/23(日)〕について
(愛知県医師会・愛知県主催：9階大講堂・8階会議室)
伊藤(健)理事より、医師、看護師を中心に108名の参加があり、参加者の中心は看護師であったと報告された。
- 1 7. 病院の認知症対応力向上事業 第5回 モデル事業企画支援会議〔3/3(月)〕について
(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)
伊藤(健)理事より、認知症対応力向上研修の開催結果報告に加え、演習(グループワーク)の課題点や次年度に向けての改善内容について検討した。認知症対応病院モデル事業に関しては担当委員よりモデル病院2施設の進捗報告とマニュアルの纏め方について説明があった。また、次年度の病院実地指導スケジュールについて、八千代病院認知症疾患医療センターの川畑センター長を交えて調整を行ったと報告された。
- 1 8. 愛知県損害保険医療協議会 平成25年度 第4回専門委員会〔2/20(木)〕について
(愛知県損害保険医療協議会主催：802・803 会議室)
城理事より、損保専門委員会では特に協議事項はなく、医療類似行為(所謂柔道整復師)の行う施術の請求額が、医科の2倍もあり、しかも後遺症の診断書のみを整形外科医に求めてくることが多く、損保会社も被害者に強く指導して欲しいと申し入れたと報告された。
- 1 9. 労災・自賠責特別講演会〔3/6(木)〕について
(愛知県医師会主催：地下健康教育講堂)
城理事より、労災保険の診療報酬は健保準拠となっているが、昭和36年より暫定措置にて継続されている。独立した診療報酬体系を構築すべきとの声もある。自賠責問題では、交通事故において安易な健康保険の使用は避け、自賠責を優先すべきであることを、周知すべきである。柔道整復療養費は、増加の一途を辿っており、柔道整復師の数も年々増加しており質の向上が必要である。参加者数は86名であったと報告された。
- 2 0. 平成25年度 愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会〔3/1(土)〕について
(愛知県医師会主催：栄ガスホール)
城理事より、講演はⅠ～Ⅳの構成で、それぞれのテーマに沿ってご講演をいただいた。参加者は、医師103名、歯科医師18名、薬剤師9名、看護師・准看護師26名、管理栄養士・栄養士14名、その他7名の計177名であったと報告された。
- 2 1. 治験審査会〔2/21(金)〕について
(愛知県医師会主催：804 会議室)
大輪理事より、初回審査3件(潰瘍性大腸炎1件、統合失調症・大うつ病(施設追

加)各1件)、継続審査17件(統合失調症7件(小児2件含む)、潰瘍性大腸炎・大うつ病・認知症各2件、便秘改善薬・乳がん・双極Ⅰ型障害・Ⅰ型糖尿病各1件)についてすべて承認され、審議事項の施設追加「統合失調症患者を対象とした用量検討試験」については今回よりイーピーメントが行うことになったと報告された。

22. 第7回日本医師会医療秘書認定試験委員会〔2/21(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、第34回日本医師会医療秘書認定試験の合否判定や結果分析評価報告書の検討を行った。愛知県の合格者は95名で、95.0%の合格率であったと報告された。

23. 愛知県医師会医療秘書学院講師会〔2/23(日)〕について

(愛知県医師会医療秘書学院主催：名古屋東急ホテル)

大輪理事より、学院試験結果(進級、学年、卒業)等について報告、協議した。また、平成27年度より予定している業務一部委託運営に向けて、進捗状況を報告・説明したと報告された。

24. 日本医師会主催の第4回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして—都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理—」〔2/26(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館3階小講堂・ホール)

大輪理事より、愛知県医師会の取り組みについて報告。「診療報酬請求の適正化」、「終末期患者の医療のあり方」についてケーススタディを行ったと報告された。

柵木会長より、ケーススタディの事例「診療報酬請求の適正化のために」について、どのような意見があったか質問され、大輪理事より、様々な意見が出たが、全体的には呼び出して話を聞くという意見であったと回答された。

25. 平成25年度愛知県難病医療ネットワーク推進事業医療従事者研修会〔2/27(木)〕について

(愛知県難病医療連絡協議会主催：愛知医科大学本館302会議室)

大輪理事より、今回の研修会では、難病患者の在宅医療、看護、介護の連携体制の在り方について講演があり、人工呼吸器を装着したALS患者の在宅移行について事例検討が行われた。参加者より、医療者と介護者との連携の在り方、患者・家族に対する支援で心掛けていることなど、活発な質疑応答が行われたと報告された。

26. 平成25年度難病講演会〔3/4(火)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

大輪理事より、今回の講演会では、厚生労働省健康局疾病対策課西嶋康浩課長補佐をお招きし、「難病対策の改革について」をテーマに開催し、講演後パネルディスカッションを行った。出席者は、医師6名、保健師16名、看護師5名、教職員2名、

ケアマネージャー23名、MSW33名、就労支援関係者15名、事務職10名、その他3名、不明4名、講師・役員8名の計125名の参加があったと報告された。

27. 第2回豊田加茂地域産業保健センター運営協議会〔2/13(木)〕について
(豊田加茂地域産業保健センター主催：豊田加茂医師会館大会議室)

西山理事より、協議では、平成25年度事業実績は24年度比で、特定健康相談開催回数が10回増加し、2事業所増の129名増加、長時間労働実施人数は14名減少した。平成26年度委託実施計画では、平成25年度と同じメンタルヘルス相談をより重点的に考慮したいので、引き続き労働基準監督署、商工会議所からの口添え協力が依頼され、その他、次年度からの三事業一体化につき申し合わせをしたと報告された。

28. 産業医研修会〔3/3(月)・3/6(木)〕について
(愛知県医師会主催：9階大講堂)

西山理事より、3月3日(月)は128名の出席があり、3月6日(木)は139名の出席があったと報告された。

29. GOOD LIFE PROJECT(在宅医療に関するプロジェクト)〔2/26(水)〕について
(愛知県医師会主催：805会議室)

樋口理事より、12の地域が在宅医療連携拠点推進事業のモデル事業を行っており、その中に入っている地域の委員より各地区の状況についてそれぞれ報告があったと報告された。

柵木会長より、在宅医療連携拠点推進事業のモデル地域が本プロジェクトに参加しているのか質問され、樋口理事より資料の5地域がメンバーであると回答された。

柵木会長より、他の地域も含めた連絡協議会を立ち上げる予定について質問され、樋口理事より現時点では予定はないと回答され、柵木会長より在宅医療連携拠点推進事業についての協議会は改めて考えていかないといけないと発言された。

30. 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会〔3/5(水)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)

樋口理事より、平成26年度診療報酬改定について鈴木常任理事から説明があり、また、3月19日(水)から始まる診療報酬改定に伴う集団指導にて本協議会の資料を配付資料にすると報告され、また、本日地区医師会へ発送した改定診療報酬点数表参考資料(白本)と窓口負担変更に関する医療機関掲示用ポスター(2種類)を配付してあるので参考としていただくよう説明された。

31. 平成25年度第2回愛知県要介護認定等適正化会議〔3/6(木)〕について
(愛知県主催：愛知県社会福祉会館)

樋口理事より、名古屋を除く介護認定審査会設置市町村45か所に属する305合議

体のうち 266 合議体〈回収率 87.2%〉からアンケートを回収、前回の 5 事例ではらつきの多かった 2 事例を取り上げて調査をし、その結果報告があったと報告された。

3 2. 平成 25 年度認知症サポート医フォローアップ研修〔3/9(日)〕について
(愛知県医師会主催：801～804 会議室)

樋口理事より、認知症サポート医を対象に研修を行い、出席者は 29 名であったと報告された。

3 3. 平成 25 年度女性医師支援事業連絡協議会〔2/21(金)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、女性医師支援センター事業ブロック別会議開催報告として、会議の総括や、特徴的・先進的な取り組みについて、各ブロックを代表する県医師会の発表が行われ、その内容について説明された。また、中部からは中部ブロック会議を担当した岐阜県医師会が発表をしたと報告された。

3 4. 結核講演会〔2/26(水)〕について
(愛知県医師会主催：803・804 会議室)

額額理事より、「愛知県の結核診療の現状と課題」というテーマで名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学教授長谷川好規先生にご講演をいただき、参加者は医師 29 名、行政 2 名、保健所 18 名の計 49 名であったと報告された。

3 5. 愛知県感染症発生動向調査企画委員会〔3/3(月)〕について
(愛知県衛生研究所主催：愛知県衛生研究所)

額額理事より、2013 年度の愛知県感染症の報告では、2 類結核で 1,917 例、3 類腸管出血性大腸菌感染症で 211 例、4 類レジオネラ症で 64 例、5 類アメーバ赤痢 62 例、急性脳炎 23 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 11 例、後天性免疫不全症候群 98 例、侵襲性肺炎球菌感染症 76 例、先天性風疹症候群 2 例、梅毒 54 例、破傷風 5 例、麻疹 25 例等で例年と大差はないが、去年は風疹が多かった。詳細は県衛生研究所ホームページ内の愛知県感染症情報を参照して頂きたいとのことであったと報告された。

3 6. 愛知県予防接種広域化調整会議〔3/7(金)〕について
(愛知県主催：愛知県自治研修所大教室)

額額理事より、全市町村の担当者が集まり、予防接種広域化事業の内容を代表市町村が説明する県主催の会議。4 月 1 日開始に向け動いていくこととなり、特に問題になることは無かったと報告された。

伊藤副会長より、市町村との契約スケジュールについて説明された。

樋口理事より、診療報酬改定に伴う集団指導にて予防接種広域化事業についての説明を行うと発言された。

37. 愛知県医師会剖検システム運営協議会〔2/13(木)〕について

(愛知県医師会主催：名古屋東急ホテル)

細川理事より、平成25年の運営状況、剖検症例(6例)について報告があり、平成26年の当番大学月順について確認した。また、システムのあり方について議論し、今後は迅速に剖検症例を担当理事が確認することになったと報告された。

柵木会長より、剖検の流れについて質問され、細川理事より剖検の受付から遺体の搬送までの流れについて説明された。

38. 医療安全対策委員会勉強会〔2/15(土)〕について

(愛知県医師会主催：名古屋東急ホテル)

細川理事より、株式会社損害保険ジャパンと共催で開催した。講師を一般社団法人医療安全全国共同行動企画委員会委員長で佐賀大学名誉教授の小泉俊三先生に依頼し、「医療安全全国共同行動—いのちをまもるパートナーズについて—」という演題でご講演いただいた。参加者は本会役員・医療安全対策委員会委員等、51名であり、終了後には懇親会を行ったと報告された。

39. 名古屋第一赤十字病院 第30回地域医療支援病院運営委員会〔2/27(木)〕について

(名古屋第一赤十字病院主催：名古屋第一赤十字病院)

細川理事より、紹介と逆紹介(件数・率)について、共同利用の実績について、講習会・研修検討会の実績について、救急医療の実績について報告があったと報告された。

40. 第30回社会保険中京病院地域医療支援委員会〔2/28(金)〕について

(社会保険中京病院主催：社会保険中京病院)

細川理事より、地域医療連携に関するデータ報告として、紹介と逆紹介(件数・率)の推移、病診連携の報告があり、来年度より「独立行政法人地域医療機能推進機構(略してJCHO(ジェイコー))中京病院と病院名が変更になると報告された。

41. 各種委員会・部会について

A) 医療安全対策委員会〔2/18(火)〕について

(803・804会議室)

細川理事より、平成26年2月分委員会提出案件18件(新規13件、解決5件)について検討したと報告された。

B) 母体保護法指定医師審査(小)委員会〔2/26(水)〕について

(801会議室)

伊藤(富)理事より、公益社団法人愛知県医師会母体保護法指定医師指定基準及び細則等について、主に研修機関の要件、指定医師の更新研修に関する検討を行った。また、指定基準等の一部改正に伴い、研修症例実施報告書の修正、研修機

関登録申請書及び研修連携施設登録申請書の新規作成についても検討が行われたと報告された。

C) 救急委員会〔3/4(火)〕について
(7 階研修室)

稲坂理事より、報告事項では、3 月 1 日(土)までに行われた関係会議等について報告がなされ、MC 協議会正副会長会、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知実行委員会 2014 医療部会(第 3 回)等を中心に議論がなされたと報告された。

柵木会長より、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知では救急搬送があったか質問され、稲坂理事よりまだ把握していないと回答されたため、柵木会長より、分かり次第報告するよう依頼された。

D) 環境衛生委員会〔3/4(火)〕について
(501 会議室)

額額理事より、鳥インフルエンザについて、麻しんの発生状況について、愛知県風しん抗体検査事業について、愛知県より説明があったと報告された。

E) 調査室委員会〔3/5(水)〕について
(5 階医師連盟会議室)

加藤理事より、第 170 回(臨時)代議員会の決議文(案)及び協議について、資料に基づき説明の後、意見交換を行い、また、2 月 24 日(月)から 2 月 28 日(金)にメディアファクスに掲載された記事について、担当委員より解説を行ったと報告された。

F) 第 2 回医療関係者・看護学校検討委員会〔3/7(金)〕について
(801 会議室)

市川理事より、平成 26 年度給与基準表(案)等について議論し、また、委員会名称を「医療関連職検討委員会」と変更することとしたと報告された。

4 2. その他

・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の登録について

額額理事より、登録を行っていない機関は全て登録をして欲しいと発言された。

山本副会長より、登録はインターネットからしか出来ないのか質問され、城理事より FAX でも登録できると回答された。

柵木会長より、会員へ改めて周知すべきか質問され、額額理事より、診療報酬改定に伴う集団指導の際に周知をすると回答された。

岩瀬監事より、岡崎市の登録状況について説明された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年3月13日